

2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年9月4日

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7265 URL <https://www.eiken-kk.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 宮治 友博
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役兼総務部長（氏名） 櫻井 英司 (TEL) 0537-86-3105
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第3四半期の業績（2025年11月1日～2026年7月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第3四半期	6,062	△1.8	240	△40.6	262	△40.5	197	△37.4
2025年10月期第3四半期	6,174	12.6	404	76.4	441	77.9	315	85.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年10月期第3四半期	192.64		—					
2025年10月期第3四半期	308.94		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期第3四半期	8,086	6,226	77.0
2025年10月期	7,782	6,055	77.8

(参考) 自己資本 2026年10月期第3四半期 6,226百万円 2025年10月期 6,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2026年10月期	—	0.00	—		
2026年10月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,351	3.1	408	△0.7	431	△4.7	301	△7.7	294.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年10月期 3 Q	1,240,000株	2025年10月期	1,240,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2026年10月期 3 Q	210,799株	2025年10月期	215,522株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年10月期 3 Q	1,026,092株	2025年10月期 3 Q	1,021,944株
---------------	------------	---------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する等、景気は緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、中東地域の情勢不安が発端となったホルムズ海峡の封鎖継続に伴う石油化学製品等の調達遅れや価格の高騰、資源・原材料価格の高止まりに起因する物価上昇による個人消費の下振れリスク等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

自動車用補修フィルター市場は、自動車の保有台数に比例して数量が決定する傾向があります。そのため、自動車保有台数が伸び悩んでいる状況では、自動車用補修フィルターの市場も頭打ちになります。さらに、メンテナンス費用削減意識の高まりにより、長期的には需要は減少傾向にあります。また、海外から安価な商品が増加し、激しい価格競争をしております。

こうした状況のなかで、フィルター部門の国内におきましては、付加価値の高い大型車用フィルター、既存品と差別化した高性能オイルフィルター及びプレス部品の拡販に注力すると共に、既存取引先との取引拡大並びに新規取引先の開拓にも取り組んでまいりました。輸出におきましては、長年、当社ブランド「VIC」を海外の日本車向けに販売しております。そのブランド力を活かし、主要輸出先への新製品の提案並びに主要輸出先以外への販売拡大等の営業活動を強化してまいりました。さらに、燃焼機器部門では、取引先から依頼を受けたバーナの開発、既存のバーナ部品及び熱交換器の拡販、新規取引先の開拓にも取り組んでまいりました。しかしながら、石油化学製品の調達が計画通りに進まなかったこと等が要因となり、当初の計画よりも生産数が減少しておりフィルター部門の売上高に影響を及ぼしております。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億11百万円減少し、60億62百万円(前年同四半期比1.8%減)、売上高が減少したこと、原材料・梱包資材等の価格高騰及び製造経費が増加したこと等により製品売上原価率が上昇したことが要因となり、営業利益は前年同四半期に比べ1億64百万円減少し、2億40百万円(前年同四半期比40.6%減)、営業利益が減少したことが要因となり経常利益は前年同四半期に比べ1億79百万円減少し、2億62百万円(前年同四半期比40.5%減)、四半期純利益は前年同四半期に比べ1億18百万円減少し、1億97百万円(前年同四半期比37.4%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は増加したものの、輸出売上が減少したことにより減少しました。国内売上が増加した要因は、同業者向けが減少したものの、商社向けが増加したことによるものです。輸出売上が減少した要因は、アジア向けが減少したことによるものです。営業利益に関しては、売上高が減少したこと、原材料・梱包資材の価格高騰及び製造経費が増加したこと等により製品売上原価率が上昇したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億40百万円減少し、57億89百万円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益は前年同四半期に比べ1億56百万円減少し、4億58百万円(前年同四半期比25.5%減)となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、コインランドリー用バーナ、厨房機器用バーナ共に増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことにより増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ29百万円増加し、2億71百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益は、前年同四半期に比べ7百万円増加し、32百万円(前年同四半期比30.1%増)となりました。

(その他)

ガレージサウナ及び灰皿等の販売をしております。

売上高は前年同四半期に比べ1,007千円減少し、1,282千円(前年同四半期比44.0%減)、営業損失は売上高が減少したことにより4,561千円(前年同四半期は営業損失3,805千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて1億97百万円増加し、51億20百万円(前事業年度末比4.0%増)となりました。主な要因は、売上高が減少したこと及び支払方法を手形から電子記録債権に変更した取引先が増加したことにより受取手形及び売掛金が71百万円減少したものの、発注済み設備の導入に係る資金確保等により現金及び預金が1億61百万円、電子記録債権制度を採用した取引先が増加したこと等により電子記録債権が39百万円、受注が増加したことによる出荷対応等のため商品及び製品が22百万円、仕掛品が39百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて1億6百万円増加し、29億66百万円(前事業年度末比3.7%増)となりました。主な要因は、設備投資により機械及び装置が1億29百万円増加したことによるものです。

その結果、総資産は、前事業年度末と比べて3億3百万円増加し、80億86百万円(前事業年度末比3.9%増)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて1億10百万円増加し、15億29百万円(前事業年度末比7.8%増)となりました。主な要因は、前事業年度末と比べて支払うべき法人税等が減少したことにより未払法人税等が55百万円減少したものの、仕入等が増加したこと等により支払手形及び買掛金が64百万円、冬季賞与の支給に備えたことにより賞与引当金が80百万円、それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて22百万円増加し、3億30百万円(前事業年度末比7.3%増)となりました。主な要因は、退職給付引当金が26百万円増加したことによるものです。

その結果、負債合計は、前事業年度末と比べて1億33百万円増加し、18億60百万円(前事業年度末比7.7%増)となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末と比べて1億70百万円増加し、62億26百万円(前事業年度末比2.8%増)となりました。主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が1億12百万円減少したものの、時価の上昇によりその他有価証券評価差額金が68百万円増加したこと及び、四半期純利益を1億97百万円計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期の業績予想に関する事項につきましては、2025年12月5日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,873,825	2,035,765
受取手形及び売掛金	1,202,509	1,130,838
電子記録債権	596,173	635,651
有価証券	5,013	4,951
商品及び製品	797,609	820,024
仕掛品	78,638	118,250
原材料及び貯蔵品	290,028	313,712
その他	80,402	62,760
貸倒引当金	△1,828	△1,782
流動資産合計	4,922,371	5,120,174
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	906,168	944,817
機械及び装置（純額）	496,546	625,989
その他（純額）	686,054	635,581
有形固定資産合計	2,088,769	2,206,388
無形固定資産	8,796	6,392
投資その他の資産		
繰延税金資産	53,771	54,305
その他	710,221	700,582
貸倒引当金	△1,050	△1,080
投資その他の資産合計	762,942	753,808
固定資産合計	2,860,508	2,966,589
資産合計	7,782,880	8,086,763

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,222	490,578
電子記録債務	87,340	75,680
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	110,528	54,916
賞与引当金	42,687	123,570
その他	292,120	324,796
流動負債合計	1,418,899	1,529,542
固定負債		
退職給付引当金	267,736	293,836
役員退職慰労引当金	1,855	—
資産除去債務	10,173	10,173
その他	28,398	26,618
固定負債合計	308,164	330,628
負債合計	1,727,064	1,860,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	407,978	414,434
利益剰余金	5,430,822	5,515,803
自己株式	△485,982	△475,454
株主資本合計	5,954,618	6,056,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101,197	170,009
評価・換算差額等合計	101,197	170,009
純資産合計	6,055,815	6,226,592
負債純資産合計	7,782,880	8,086,763

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
売上高	6,174,358	6,062,575
売上原価	5,183,909	5,211,162
売上総利益	990,449	851,413
販売費及び一般管理費	585,577	610,784
営業利益	404,871	240,628
営業外収益		
受取利息	1,820	3,853
受取配当金	12,309	12,598
受取賃貸料	10,086	10,044
その他	15,801	4,555
営業外収益合計	40,018	31,051
営業外費用		
支払利息	2,803	3,846
投資有価証券評価損	—	4,515
その他	179	430
営業外費用合計	2,982	8,791
経常利益	441,906	262,889
特別利益		
固定資産売却益	28	268
補助金収入	600	7,446
保険解約返戻金	191	8,946
子会社清算益	1,442	—
特別利益合計	2,262	16,661
特別損失		
固定資産除却損	0	348
特別損失合計	0	348
税引前四半期純利益	444,169	279,202
法人税、住民税及び事業税	162,819	112,692
法人税等調整額	△34,374	△31,164
法人税等合計	128,444	81,528
四半期純利益	315,724	197,673

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
日本	2,691,311	241,644	2,932,956	2,290	2,935,246	—	2,935,246
海外	3,239,111	—	3,239,111	—	3,239,111	—	3,239,111
顧客との契約から生じる 収益	5,930,423	241,644	6,172,067	2,290	6,174,358	—	6,174,358
外部顧客への売上高	5,930,423	241,644	6,172,067	2,290	6,174,358	—	6,174,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,930,423	241,644	6,172,067	2,290	6,174,358	—	6,174,358
セグメント利益又は損失(△)	615,284	24,881	640,166	△3,805	636,360	△231,489	404,871

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
日本	2,791,964	271,342	3,063,307	1,282	3,064,590	—	3,064,590
海外	2,997,985	—	2,997,985	—	2,997,985	—	2,997,985
顧客との契約から生じる 収益	5,789,950	271,342	6,061,292	1,282	6,062,575	—	6,062,575
外部顧客への売上高	5,789,950	271,342	6,061,292	1,282	6,062,575	—	6,062,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,789,950	271,342	6,061,292	1,282	6,062,575	—	6,062,575
セグメント利益又は損失(△)	458,555	32,381	490,937	△4,561	486,375	△245,746	240,628

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	173,645千円	186,420千円